


整理番号	HT28265	分野	地学・その他 (キーワード) 微化石, 有孔虫, 堆積物, 海洋環境
------	---------	----	---------------------------------------

島根大学

100年・1000年前の中海へ潜ってみよう：時間を旅する地質学への誘い

先生(代表者)	野村 律夫(のむら りつお) 教育学部・教授			
自己紹介	専門は、環境地質学です。原生動物の有孔虫という小さな生物が地球の歴史を記録していることを大学生のときに知りました。5億年も進化し続けている生物ですが、人間活動による海の環境変化を記録していることに驚きながら研究しています。			
開催日時・主な募集対象	平成28年7月24日(日) (悪天時の予備日として平成28年7月31日(日), 8月6日(土))	(対象)	小学校 5・6年生	(人数) 20名
集合場所・時間	島根大学 教育学部 1階 多目的実験室I (集合時間) 9:00~9:30			
開催会場	島根大学 教育学部 多目的実験室 I および中海(船上実習を行います) 住所: 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 アクセスマップ: http://www.shimane-u.ac.jp/access/			

内 容

海や湖の底にたまっている泥には、いろんな時代の水の中の出来事が歴史の教科書のように記録されています。中海を例として、湖の底にたまっている泥を採取して、昔の人が見ていた数10年前から約1000年前の中海がどんな湖であったのか、みなさんを昔の水中世界へご案内します。実際に船に乗って泥をとり、顕微鏡を使って泥に含まれる生きものの化石を観察しながら現在の湖と比較します。また、観察した化石の標本を石膏を使って作製し、お持ち帰りいただきます。



湖底の泥の中にはどんなものが入っているのだろう??
みなさんを昔の水中世界へご案内します。

スケジュール	持 ち 物
9:00～9:30 受付(島根大学教育学部 1階多目的実験室 I)	・筆記用具 ・お弁当
9:30～10:00 開講式(挨拶, オリエンテーション, 科研費の説明)	
10:00～10:30 借り上げバスにより観光船「はくちょう号」へ	特 記 事 項 船上で実習をします。乗り物に弱いお子さんは酔い止め薬を持参・服用してください。船上実習を行うため、実施日が悪天の際には、予備日に実施いたします。
10:30～13:00 船舶による採泥実習(途中船内で昼食)	
13:00～13:30 借り上げバスにより教育学部(松江キャンパス)へ	
13:30～13:50 講義「地球環境の変化を捉える汽水域の微化石」	
13:50～14:00 顕微鏡観察と石膏モデルの事前説明	
14:00～15:00 石膏モデルの作製	
15:00～15:20 茶菓子休憩と講師・大学生との懇談会	
15:20～17:00 採取した堆積物の処理と観察	
17:00～17:30 修了式(アンケートの記入, 未来博士号授与)	
17:30 終了・解散	

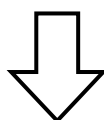
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	島根大学 教育学部 辻本 彰
住 所：	〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
TEL 番号：	0852-32-9876
FAX 番号：	0852-32-9876
E-mail：	tsujimoto@edu.shimane-u.ac.jp
申込締切日：	平成28年7月13日(水)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
野村律夫	H25 ～ H28	基盤研究 (B)	25287138	堆積速度の低下による汽水域底質の酸性化問題の提起とその解決へ向けた基礎研究
野村律夫	H21 ～ H23	基盤研究 (B)	21340147	近年の海面水位上昇による沿岸水の滞留時間の長期化問題と生態系への影響
野村律夫	H15 ～ H17	基盤研究 (A)	15204046	20世紀の異常海水準変動と沿岸生態系の動態解明のための層位・古生物学的手法の確立



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。